

# 周防大島町の産地継承夢プラン に基づく新規就農者の確保・育成



柳井農林事務所農業部 弘中、青木、岡崎  
河村、杉、弘中、西、**迫村**

# 本日の発表

- I 周防大島の柑きつ産地について
- II 活動の目標
- III 普及活動の内容
- IV 普及活動の成果
- V 結び～「今後の普及活動」に向けて

# I 周防大島の柑きつ産地について

# I 周防大島町の柑きつ産地について

## 周防大島は県内最大の柑きつ産地

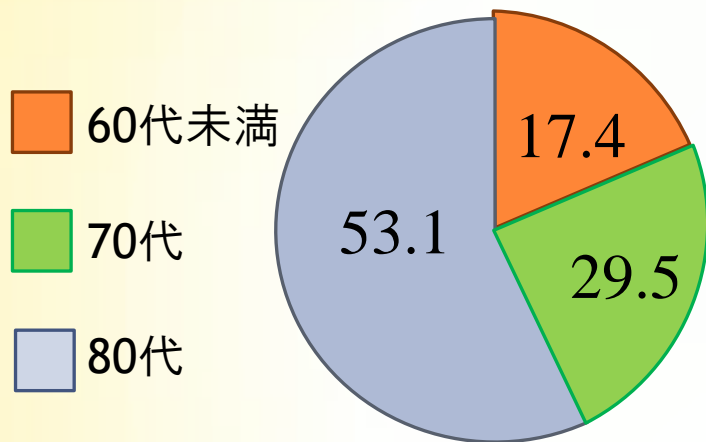
H27年度JA山口大島販売実績

	温州みかん	せとみ
出荷量（t）	5,616	268
販売額（百万円）	719	115

瀬戸内のハワイ 周防大島



# I 周防大島町の柑きつ産地について



H27年 出荷者の年齢



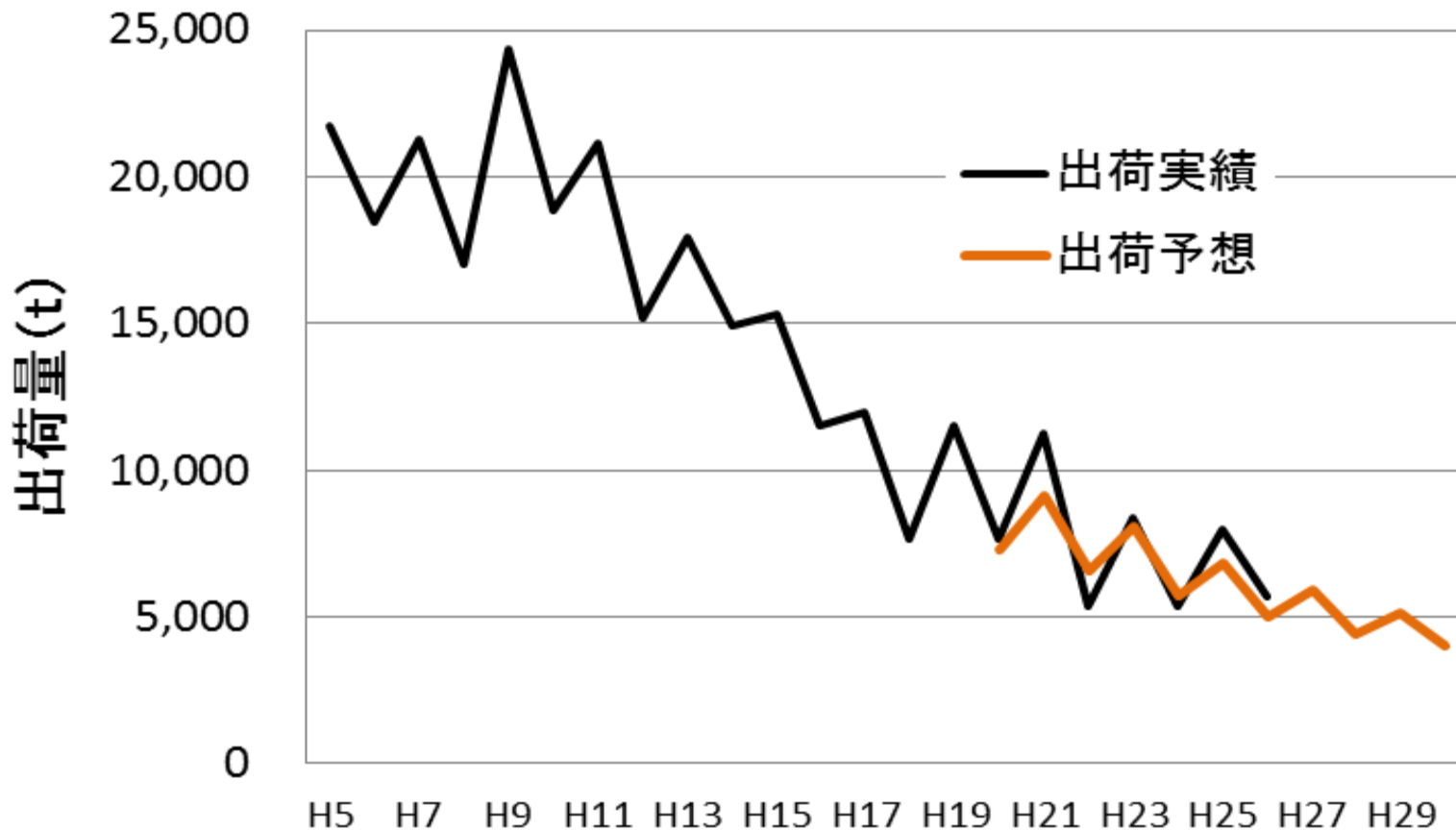
◆高齡化・労働力不足  
70歳以上が80%超  
平均年齢は75歳

◆耕作者 約1,100名  
のうち約8割  
が40a未満を管理

狭小・不整形な  
園地が多い。



# I 周防大島町の柑きつ産地について



図：出荷量の推移および出荷予想

**出荷量は10年前の1/2まで減少  
このままでは産地の維持も難しい。**

## Ⅱ 活動の目標

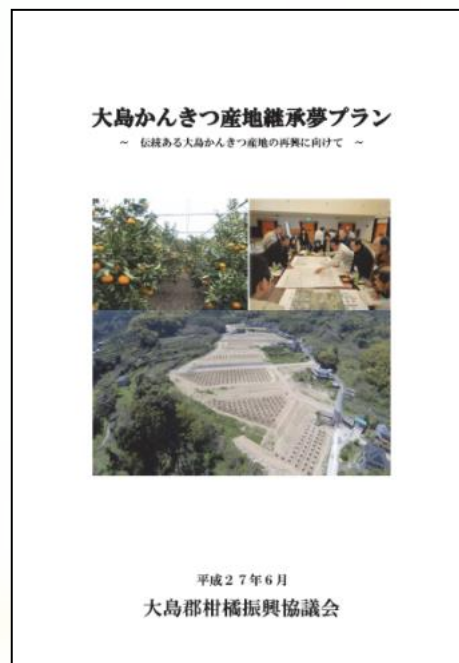
## Ⅱ 活動の目標

# 大島かんきつ産地継承夢プラン の策定（H27.6）

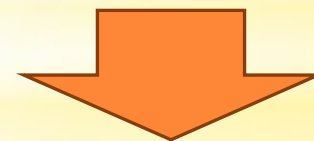
①担い手確保

②拠点団地整備

③生産量増品質向上



**【目標】**  
**毎年4名の**  
**新規就農者**  
**確保**



持続可能な柑きつ産地の再構築  
(表年6,000t、裏年5,000tの確保)



## Ⅲ 活動の内容

### Ⅲ 活動の内容（担い手の確保）

平成13年

① **大島みかんサポーター制度**  
農繁期における労力補完

平成14年

② **みかんいきいき営農塾・ステップアップ研修**  
栽培基礎研修

平成18年

③ **周防大島担い手支援センター 開設**  
就農相談窓口の一元化



### Ⅲ 活動の内容（担い手対策）



営農塾・  
ステップアップ  
研修

就農支援  
園地流動  
機械斡旋

大島みかん  
サポーター  
(労力支援)

就農相談

基礎研修

就農支援・就農後のフォロー

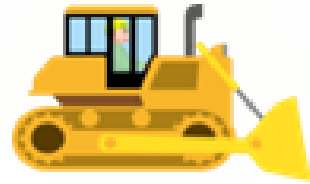
新規就農者の確保・育成



## Ⅲ 活動の内容（拠点団地整備、高品質果実生産）



棚田状の園地



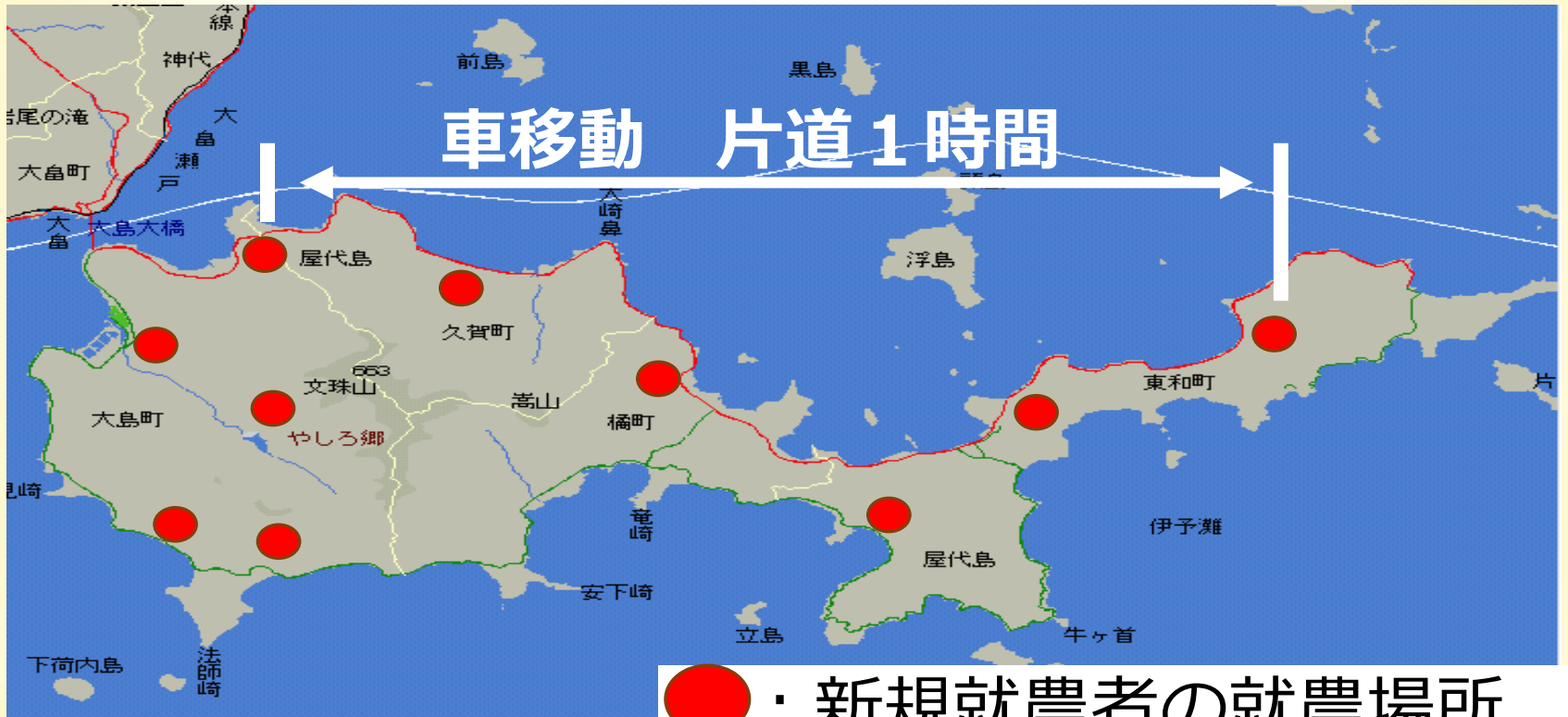
### 園地整備・団地化

省力・高品質を可能とする栽培  
体系(マルドリ栽培の導入)



**新規就農者**  
**の受け入れ**  
**・経営安定**

### Ⅲ 活動の内容 (担い手育成)



● : 新規就農者の就農場所

新規就農者による情報交換及び  
相互研鑽の場としてJA青壮年部 を提案



### Ⅲ 活動の内容（担い手育成）

（青壮年部から）

- 樹が古く改植した。
- 改植後5年間  
ほぼ未収益だった。



（関係機関による協議）



- 新規就農者の早期経営安定には、  
就農後  
すぐに収益を上げられる園地が必要。



### Ⅲ 活動の内容（園地中間管理の必要性）

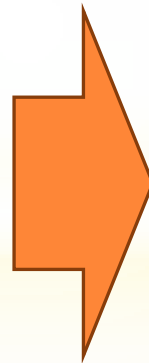


栽培  
困難者

既存生産者が栽培休止  
した後、新規就農希望  
者へ園地を譲るまで。  
誰かが、園地の管理を。



栽培  
希望者



### Ⅲ 活動の内容（園地中間管理の候補者選定）

誰が管理するの？



- ◆他産地の情報収集
- ◆県外視察



#### 【中間管理組織の候補】

- ①ベテラン組による営農組織の設立
- ② 1農家の法人化、若手農家が合同で園地集積
- ③ J A による管理（出資型法人）

### Ⅲ 活動の内容（園地中間管理組織の設立）



	選択肢	長所	短所
①	ベテラン組による営農組織	栽培技術は完璧	継続性が担保できない
②	1農家の法人化 若手農家の連合	周辺農家は安心。予め預けられる	育成に時間がかかる
③	JA出資型法人	地域の指導者・若手を取り込む。 永続性もある。	柑橘における先進事例が少ない

### Ⅲ 活動の内容（課題の明確化）

## 経営収支は合うの？



- 中間管理は経費はかかる。  
（時には、樹勢回復のため全て摘果）  
単収は少なく、収益が少ない。
- 法人構成員の給料はどうするのか。



- ◆各種経営シミュレーション
- ◆県農林振興公社（農地中間管理機構）  
等を交え、補助金の活用等も検討

### Ⅲ 活動の内容（園地中間管理組織の設立）



経営収支は合うの？



◆就農希望者：  
研修生として育成・実作業を担う  
※単町事業を活用

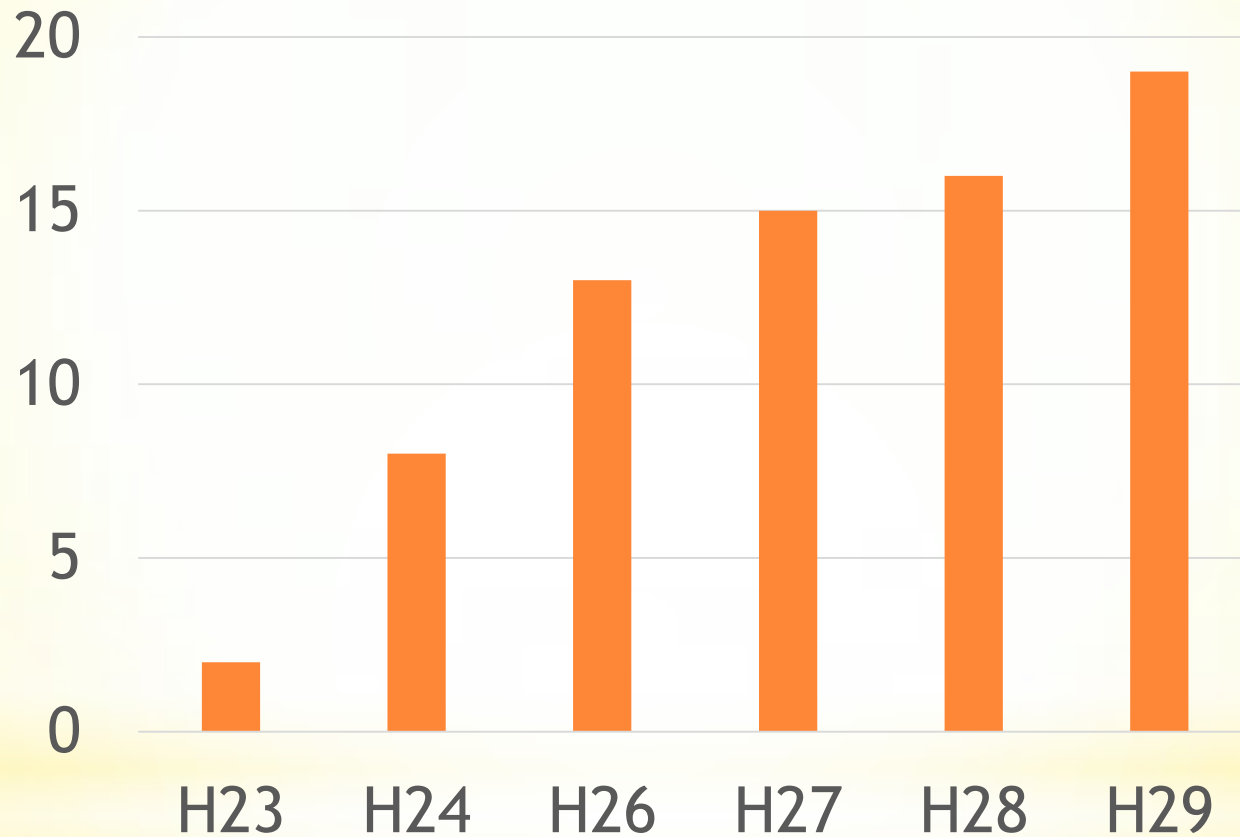
◆地域ベテラン農家：  
指導・助言、園地の調整

⇒ 先ずは、小面積から取り組む！

## IV 活動の成果



### Ⅲ 活動の成果 ①（担い手の確保・育成）



- H23年以降、累計19名（目標24名）が就農。
- 全員経営を継続

### Ⅲ 活動の成果 ③ (担い手の確保・育成・定着)



平成28年10月  
JA青壮年部設立

～ 目的 ～

- ・ 新規就農者の情報共有
- ・ 相互研鑽

⇒ 経営安定化

## IV 普及活動の成果 ④ J A 出資型法人の設立

### J A 出資型法人 周防大島ファーム(株)設立

- 設立：平成29年10月2日（月）
- 出資金500万  
（JA山口大島495万：比率99%）
- 代表取締役 1名  
取締役 地区柑きつ農家 3名
- 労働力 取締役3名：研修生の指導、作業補助  
研修生：単町事業、2名  
臨時雇用：数名



# IV 普及活動の成果 ④ J A 出資型法人の設立

## 主な事業目的

- 柑きつの生産  
J A へ出荷販売

### 10年後の目標

- 栽培面積 20ha
- 出荷量 400t
- 販売額 1億円

- 農作業受託

- 新規就農者の育成



## IV 普及活動の成果 ④ J A 出資型法人の設立

### 担い手育成

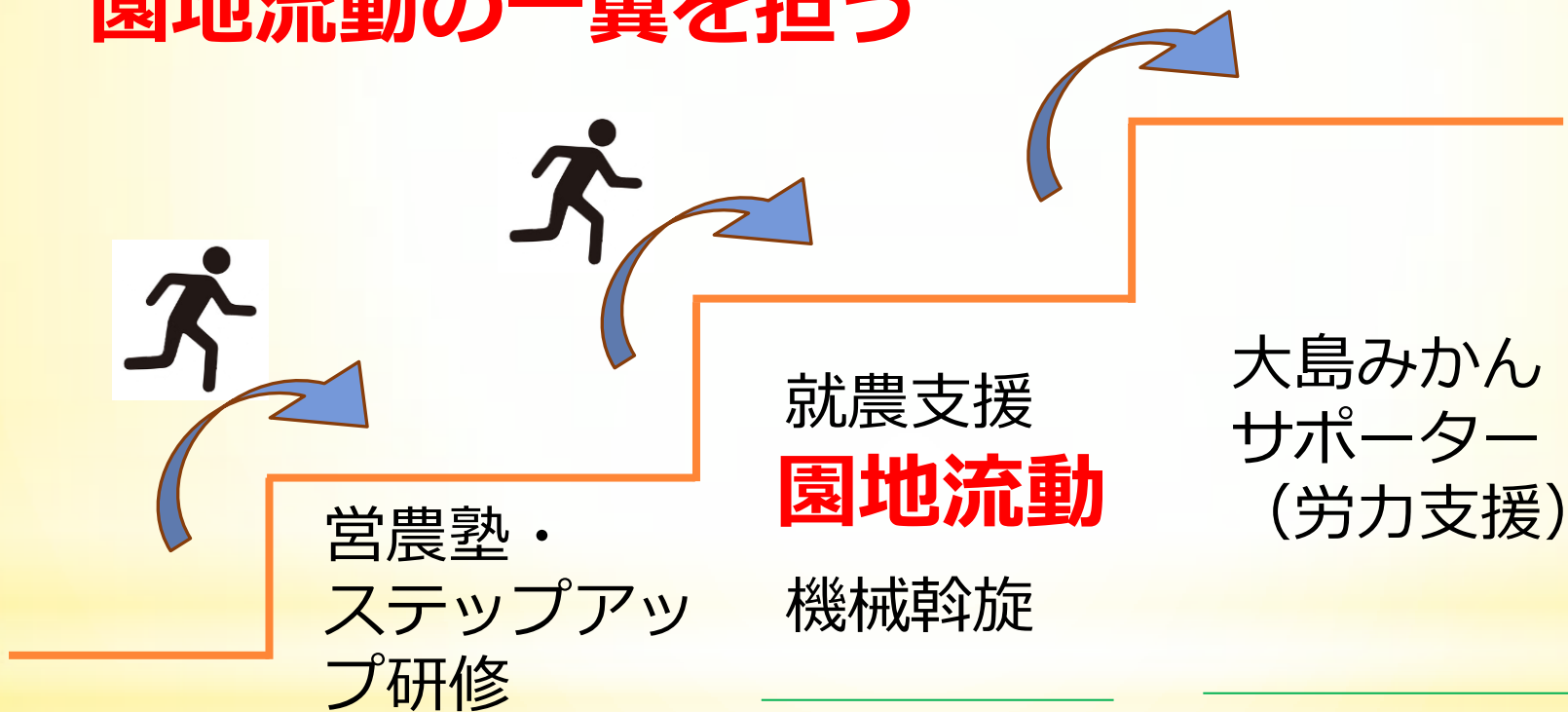
- 研修生 2 名  
うち 1 名は、次年度個人就農  
1 名は研修を継続
- 今年度、JA出資型法人管理園地2.4haのうち、  
50aを個人就農予定の研修生に暖簾分けする。
- 次年度就農予定者にとっては、  
研修を 1 年受け栽培技術を習得をし、更に、  
樹勢回復がされた園地も継承できる。





# IV 普及活動の成果 ④ J A 出資型法人の設立

## 出資型法人が就農前研修 園地流動の一翼を担う



就農相談

基礎研修

就農支援・就農後のフォロー

新規就農者の確保・育成・定着



V 今後の普及活動に向けて

## V 結び～「今後の普及活動」（担い手育成）

### (1)法人の早期経営安定

- ・ 周辺農家のモデル的存在となる。

⇒**新技術・高品質安定生産技術の実証**

⇒**法人の経営状況、運営状況のチェック**

### (2)新規就農者の確保・育成

- ・ 法人が受け皿となり、新規就農の確保・育成を加速化

⇒**研修生の育成支援**

### (3)出資型法人による受入

- ・ **他地区への普及**

## V 結び～「今後の普及活動」（基盤整備推進）

既存園

基盤整備園



久賀地区  
新規就農者 3 名が参入

戸田地区  
新規就農者 2 名が参入  
新たに 1 名が参入予定

## V 結び～「今後の普及活動」（高品質安定生産）

### 県オリジナル品種「せとみ」生産・拡大

- 急激な気象変動  
（寒波の襲来）  
⇒ ハウス導入支援



- 有利販売の推進  
⇒ 低温貯蔵庫導入に伴う出荷販売時期の拡大を図る。

